

# ふれあい おおつ

# 154

URL <http://otsu.la.coocan.jp>  
Eメール [ohtsu-shakyo@jcom.home.ne.jp](mailto:ohtsu-shakyo@jcom.home.ne.jp)

大津地区社会福祉協議会  
発行人 会長 嶋口 司  
編集 広報部 会  
横須賀市大津町3-20-16  
Tel・Fax 046-834-2487  
印刷 文明堂印刷株式会社



「ありがとう！」  
「楽しかった！」



ひとり親世帯 お楽しみ会

ひとり親世帯を対象としたお楽しみ会を行いました。  
2月18日(日)「いちご狩り&昼食(弁当)」を津久井浜の志村観光農園で行い、参加者は20家族52名でした。  
お天気も良く、駅から農園まで、ちょっとしたハイキング気分で歩きました。いちごハウスでは甘く熟したおいしいいちごをたくさん食べて、皆さん楽しい時間を過ごしていました。いちご狩り終了後は、お弁当、お土産を配り解散となりました。  
参加した皆さんに「ありがとう」「楽しかった」と笑顔で言っただき私たちもうれしく思いました。次回も多くのご家族の参加をお待ちしています。(児童福祉部会 平野)



# 笑顔いっぱい なかよしひろば



保育士の豊田先生指導のもと、季節の行事を楽しみ、歌遊び・手遊び・絵本の読み聞かせなどで、楽しいひとときをすごしています。ぜひ遊びにきてね！

## 2024年度 大津なかよしひろば 開催日

5月17日	6月21日
7月19日	9月20日
10月18日	12月20日
2月21日	3月21日

開催:毎月第3金曜日  
 場所:大津コミュニティセンター2階 体育室  
 時間:10時~11時30分  
 対象:0歳児から未就学児および保護者

※お車でのご来場はご遠慮ください

今年度より事前申込みなしで直接会場にお越しください

児童福祉部会

### 出前トーク

### 児童相談について

児童福祉部会

1月16日、37名の部会員が出席しました。児童相談について、横須賀市の状況を児童相談所職員に出前トークをお願いしました。令和4年度の相談受付件数は、1443件。大津地区からの通告数は71件でした。虐待の通告数は877件で、その内、警察からの通告数が507件。最も多いのは家庭内DVがらみで、その現場に子どもがいた場合の通報、次は近隣から子どもの泣き声についての通報です。近隣からの情報提供をもとに、児童委員に見守りの依頼をする場合があるなど、通告後の流れについてもお聞きしました。児童福祉部会という名の下で活動をしています。が知らないことばかりでとても勉強になりました。(児童福祉部会 渡辺)

#### 相談受付状況(令和4年度)

養護相談	保護者の不在 虐待等	923件 (虐待877件)
障がい相談	知的・肢体等	434件
非行相談	＜犯・触法	24件
育成相談	子育て・不登校	62件

#### 通報・相談先

虐待対応ダイヤル	189 (いちはやく)
横須賀市児童相談所直通	820-2323 (24時間)
こども家庭支援課	822-8933

## 部会員研修

### 発達障害について

障がい者福祉部会

2月17日、大津コミセンで部会員研修を行いました。今回は神奈川県立保健福祉大学の岸川学先生をお招きして「発達障害がある人の特徴と関わり方」について講演をしていただきました。発達障害を①学習障害(LD)②注意欠陥多動性障害(ADHD)③自閉スペクトラム症(ASD)に分けて、各々の特徴と関わり方について説明を受けました。また疑似体験として、発達障害の人がどのようなイメージに物が見えるのか、映像で体験しました。46名の参加者は熱心に耳を傾け、講演後の質問も多く、障がいや障がい者を理解したいとの思いが溢れていました。今後「障がい」についてシリーズ化して欲しいという要望もありました。障がい者を理解していく機会として、有意義な講演でした。(障がい者福祉部会 相澤)



高齢者福祉部会研修

シャローム成田施設長のお話

2月15日(木) 参加38名

「シャローム」は、特別養護老人ホームを昭和59年、浦上台障害者支援施設を平成14年に開設し、事業運営を行っています。さらに市から委託された地域包括支援センター等の活動があります。

施設での生活は、在宅と同様に生活の場と捉え、その延長として「看取り」も行っているそうです。

また、一人住まい高齢者の食事支援では、安否確認も兼ねた「フレあいお弁当」事業を展開、100人近いお宅に手渡しで配達しているそうです。

参加した部会員は持ち寄った古布やタオルを施設長にお渡ししました。



大津コミセンでお二人のお話を伺う

大津地域包括支援センター長

鈴木さんのお話

認知症の理解を深める講話では、徘徊の心配がある方は事前登録をしておき、いざという時に早い発見に繋がる『横須賀にこっとSOSネットワーク』のシステムが利用できることを知りました。情報は、スマホやガラケーで閲覧できます。認知症や物忘れに関する質問が多く、関心の高さが伺えました。

お話を聞いた後、コロナ禍にはできなかった新部会員との顔合わせと知識の習得をはかりました。

(高齢者福祉部会 N)

広報部会研修

2月19日(月) 参加10名

今回の研修は、地元のことをもっと知ろうと『浦賀探訪』を計画しました。

浦賀駅に集合後、まずは「浦賀ドック」の見学。広い構内を一巡しながら、職員の方にドックの構造や、船を入れてから水を抜く設備などについて説明をいただいたことは幸いでした。浦賀ドックとその周辺は令和3年3月住友重機械工業(株)から横須賀市に寄贈されており、今後の活用が期待されるところです。

次は、ゆるい坂の上にある浦賀コミセン分館を訪ね、常設展示の浦賀ドック、中島三郎助の生涯、浦賀奉行所資料などを見学。小規模ながら見応えがありました。



東叶神社の前で「カシャッ!!」

そこから少し足を延ばすと西叶神社。ここでは約180年前の力強い彫刻が残されていることに一同感銘。愛宕山も予定に入れてありましたが、降雨により割愛。渡し船で東浦賀に渡り、東叶神社も参拝しました。しかし雨が無視できないほどになり、早々に探訪を切り上げたのでした。

紙面づくりのノウハウは日ごろから相互に教え合って研鑽につとめています。何にでも見聞を深めておき、いつかそれが生きることをお願いします。

(広報部会 小畑)

災害への備え

今年の元日に突然起きた能登半島地震から4ヶ月、私たちは色々なことを学びました。いつ起きるか分からない災害に対し、準備しておくだけで非常事態を凌げるかもしれない。『災害時、本当に必要だったもの』と言われたものを挙げてみました。

- ① 飲料水 一人1日3リットル×7日分
- ② 食料品 レトルト食品缶詰など
- ③ 充電器

モバイルバッテリー

- ④ 貴重品
- ⑤ 携帯トイレ
- ⑥ 予備の衣類
- ⑦ 現金
- ⑧ 防災ラジオ

- ⑨ 常用している薬



とありました。個人、地域で必要なものが異なるかも知れませんが「もしも…」の時のために、家族や友人たちで日頃から話し合っておきたいものです。

(広報部会 Y・M)

ふれあい相談

日程：5月22日  
6月5日・19日  
7月3日・17日  
8月7日・21日  
時間：10時～15時  
場所：大津ボラセン  
Tel：046-834-2487  
相談員：民生委員児童委員





# 人生100年時代

— 2025年問題 — 第1回

長寿社会をいつまでも元気に暮らしたい、充実した時間を過ごしたい、もっと便利に生活したい——。

2025年問題とは、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となることで生じる社会問題の総称です。

- ・ 社会保障費（医療費、介護費など）負担増大
- ・ 医療・介護の体制維持が困難になる
- ・ 後継者不足による廃業が経済の縮小を加速させる

これらへの対応が求められています。

## ◎自分ができることから（健康・意欲・社会性から）

「社会性」の低下から始まるフレイル、高齢期における「社会性」の維持は極めて重要！

### <認知症の予防にもなる>

フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間に位置する心身状態のことです。高齢者の健康状態を表す言葉として、近年注目を集めています。



## ◎地域ができることから【大津の見守り】

私たちは一人ではないことを認識しましょう。  
 町内会・自治会には、組織力があります。  
 社会福祉協議会では、地域の連携が図られます。身近な民生委員児童委員、社会福祉推進委員もいます。  
 このコーナーは【大津の見守り】として6回シリーズで、超高齢者社会に向けて取り組んでいきます。

お知らせ

▽大津地区社協「定期総会」  
 と き 5月15日(水)  
 10時～11時30分

ところ 大津「ミセン」2F体育室  
 でんわ 社協(834) 2487  
 ※ 車でのご来場はご遠慮ください

ありがとうございます

社会福祉のために温かいご寄付をいただきました。

コーポ湘南大津 匿名様  
 大津町3丁目 匿名様

ふれあい広場

対岸へ春光つなぐボンボン船  
 冬の雨すべてのみこむ古ドック  
 春風や浦賀てくてく知る歴史  
 渠底から見上げる空に春の風  
 冬時雨ドックに滲むペンキ跡  
 春雨のドックで惚ぶ駆逐艦

優子 清美 満長 幸枝 洋子 典子



## おおつボラセンだより

個人及び団体グループのボランティアの皆さまのご協力のもとで、令和5年度各施設への活動を終えることができました。

令和6年度も今まで同様に継続して下さるようお願いいたします。

問合せ先：大津地区ボランティアセンター  
 ☎ 046 (834) 2487

## 編集後記

「瀬戸の花嫁」が流れる時代、私も瀬戸内海を渡り、嫁いできました。  
 最初は、食材・味・ことば、習慣のちがいに、戸惑いました。特に私は方言があり、何となく喋りづらく、口数も少なくなりました。今では、色々な方言も、楽しく使われていて、懐かしく感じます。  
 オイルショック、バブルを経験し、あっという間に半世紀以上、小さな輪の中で生活してきたように思います。  
 三年前に突然、自治会の役を受けることになりました。最初は分らないことが多く、苦労しました。しばらくすると多くの方と知り合い、皆様に助けられ、何とか務めることができました。

この年齢で、少し大きな輪に入り、マスコミの報道などによる高齢化、少子化を実感するとともに、地域に目を向け、少しでも社会貢献できたらと思いました。  
 年齢に関係なく、健康であれば何にでも挑戦することが大事だと感じます。  
 (Y・Y)

